

要子静子
 概記野照
 查藤大村
 調伊田
 態政
 実大家大喜
 取大女茂
 報鳥女化貫
 I, 本文綿
 第子日,
 幸, 子境
 度塚和秀環
 態飯口活
 の谷田生
 者政中
 費家育大
 消大教立
 る女育大市
 す践教島阪
 対実良福大
 に, 奈,
 品実, 子裕
 料尋子朝
 衣倉知窪原
 た登川奥栃
 し○緑
 記大院
 付政政育生
 を家家教衛
 能大大阪衆
 機女女大公
 殊良良, 立
 特奈奈校国

目的 瘦身を目的とする衣料品が広く宣伝されている。3年計画でこれらの衣料品の実態調査を実施した。平成元年度は特殊機能を付記した衣料品の表示および広告を消費者はどのように受けとめているかを明らかにするために実態調査を行った。

方法 全国を北海道・東北，関東，関西，中四国・九州の4地区に分け2400名を目標に，10歳以上の女性を対象にアンケート調査を行った。特殊機能を付記した衣料品を機能別に12項目に分類し，それぞれの衣料品について，知熟度，関心度，購入した衣料品について効果の有無，悪影響の有無，さらにこれらの衣料品についての意見を自由に記入してもらった。調査結果の集計は福島大学情報処理センターで行われた。ここでは，被調査者と質問項目の概要を述べる。

結果 得られた2443名のアンケートの解答の内訳は，地域別では北海道・東北31%，関東24%，関西18%，中四国・九州25%，年令別では10歳代，20～30歳30～50歳，50～60歳，65歳以上がそれぞれ16%，22%，27%，21%，14%であった。中・高・大学生が30%，有職41%，無職28%であった。体格の自覚は普通（46%）やや太っている（31%）が大部分を占め，やせていると太っているはそれぞれ11%，12%であった。自覚症状は複数解答で，46%が健康と思っているが，肩凝り，冷え症，腰痛，疲れやすいなどの症状を訴える比率が高かった。